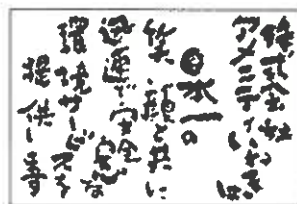


近隣企業 訪問 レポート

第3回

株式会社アメニティいわき



<経営理念>



総務グループ 富岡勇二 環境グループ 江尻正幸

廃棄物や下水を適正に処理・再生する仕組みが、快適な生活や健全な環境を守っています。

いまは、街の環境が地球の環境を支えていると言われる時代。率先して環境保全活動に取り組み、住みよい街いわき市を支えている『株式会社アメニティいわき』を訪問しました。

昭和26年に磐城清掃社として設立され、平成3年に現在のアメニティいわきに社名を変更、会社創立から63年の経験と実績を持った歴史のある企業です。

国際的な環境規格ISO14001をいち早く導入し、さまざまな廃棄物処理、浄化槽の保守点検・清掃・工事、排水管の詰まり直し、高圧洗浄、トイレメンテナンスなど、一般家庭から事業所まで清潔な環境をサポートしています。

会社概要

社 名：株式会社アメニティいわき
所 在 地：福島県いわき市小名浜君ヶ塚町5番地の9
創 立 昭和26年11月1日
従業員数：62名（うち女性9名）
資 本 金：1,000万円
代 表 者：代表取締役社長 根本 宏
営業種目：一般・産業廃棄物収集運搬
一般廃棄物収集運搬（し尿）
浄化槽 保守・点検・清掃・補修・設置
機密書類の出張細断
グループ会社：有限会社カンセイ
有限会社第一環境管理センター
ホームページ：http://www.amenityiwaki.co.jp/



当日は、根本正取締役専務様、三神輝雄総務部長様、吉成義幸環境課長様からたくさんのお話をお聞きすることができました。

主要業務・技術

▶ 収集運搬

業務の中心となるのは、一般廃棄物から産業廃棄物まで幅広く回収を行う収集運搬部門です。

地元ではお馴染みの青い運搬車は、パッカー車16台、その他トラックやバキューム車を含めると全60台がいわき市内を中心に収集、運搬を行っています。

運転の際には安全運転はもちろん、環境にやさしいエコドライブを常に心がけており、車を発進する際には穏やかにアクセルを踏んで発進する、急ブレーキはかけない、制限速度を必ず守るなどを徹底しています。

すべての収集車両には、運転手個人の安全運転・エコ運転を点数で評価するデジタルタコグラフが搭載されていて、優秀な運転手は表彰されます。

このユニークな方法で、運転技術も向上し、現在では全社員が高得点を出すそうです。



収集運搬車



運転を点数で評価するシステム

▶ 浄化槽汚泥濃縮車

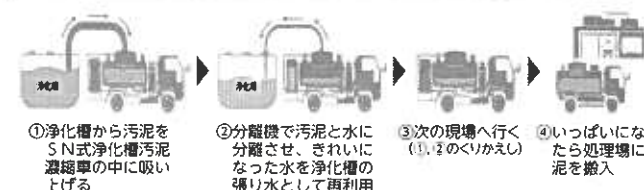
通常のバキューム車は汲み取った汚泥をそのまま処分場に搬入します。アメニティいわきでは、汚泥から水を分離し、水をきれいにしたうえで浄化槽に戻し、張り水として再利用、汚泥も1/2～1/3に凝縮、減量化できる技術を研究・開発し、特許を取得しています。

この技術が搭載された浄化槽汚泥濃縮車は、全国で約200台あり、導入の際には技術指導を行い、普及に努めています。

いままでの汚泥処理方法



これからの汚泥処理方法



▶ 機密書類の出張細断

企業の機密情報漏洩は大きな社会問題となっています。現在でも機密書類をリサイクル施設へ運搬し、溶解処理が主流となっていますが、すべて立会ではないため不安も伴います。

勿来発電所では既にお馴染みとなった大型破砕機搭載車による機密書類の出張細断は、破砕処分を防犯カメラ設置のなか、すべて目の前で作業を実施するため、セキュリティが万全です。

福島県内では1台しかないため、福島全域から茨城県まで、行政、病院、その他機密情報を扱う約200事業所をサポートしています。

なお、細断されたシュレッダー片は、地元のいわき大王製紙によってトイレットペーパー等にリサイクルされ再利用されています。



破砕機



勿来発電所での出張細断

企業取り組み

▶ エコ活動・環境活動

会社方針の柱として環境活動を掲げ、飲食店の食用油を収集し収集運搬車の燃料にしようとする高い技術への挑戦、事務所内の徹底したごみの分別、社内のペーパーレス化など環境に対する大きなことから小さなことまで社員全員が方針を理解し、取り組んでいます。

また、行政主催の環境関係イベントには積極的に参加し、市民とともに楽しみながら環境啓蒙を行っています。



廃油再生燃料

地域協調活動

▶ 社員教育

収集運搬業は、一般的に昔かたぎのタイプの運転手が多く、そのイメージを一新しようと特に社員教育には力をいれたそうです。人材育成のコンサルタントを招いて接客や電話対応などの研修を毎月実施したり、コミュニケーションセミナーや資格取得も全面的にバックアップしています。

発電所内で作業されるアメニティいわきの社員さんが丁寧に元気で頼りがいがあることは、この社員教育をながく続けた結果なのです。

▶ 取材を終えて

【富岡勇二】

日頃から一般ゴミの収集・運搬、機密文書の出張細断で大変お世話になっておりますが、今回初めて訪問させていただきました。

特許取得の汚泥濃縮技術やエコ活動、環境関係の催し物への参加などのお話をお伺いして、会社を挙げて環境活動に積極的に取り組まれていることがヒシヒシと感じられました。

取材を通して印象的だったのは、社員のみなさんの笑顔でした。経営理念の中に『日本一の笑顔』があり、通りがかった社員の方からも満面の笑顔と元気なあいさつをいただきました。とても清々しい気持ちになりました。

お忙しい中、予定を超える時間ご対応いただき誠にありがとうございました。

【江尻正幸】

エコ活動・環境活動を積極的に行っており、社員一人一人の環境保全への意識の高さを感じられました。また、浄化槽汚泥濃縮車や機密書類の出張細断等、新たなことにチャレンジし、地域社会に貢献している素晴らしい企業でした。

今年は、『一人一鉢運動』を実施されるとのことで、春には事務所の前に、きれいな花が咲くことでしょう。

一人一人の花が会社全体の大輪の花となり、これからもより一層躍進して行かれる企業であると感じました。

（取材日：平成26年2月18日）